

御食国ひょうご

みけつくくに

令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした
農林水産業の基幹産業化と
五国の持続的発展



目 次

第1部 ひょうごの農林水産業の概要

1. 多彩なひょうごの農林水産業 P1~2
2. 農林水産業の概要 P3~4

第2部 ひょうご農林水産ビジョン2030概要

1. めざす姿 P5
2. ビジョンの基本方向 P5~6
3. ビジョンの位置付け P6
4. ビジョンの計画期間 P6
5. 推進項目と主な取組 P7~8
6. 農林水産ビジョン2030とSDGsとの関連 P9~10

第3部 2024年度施策の概要

1. ビジョン2030施策体系と2024年度予算 P11
2. 2024年度の重要施策 P12~16

この冊子は、県民のみなさんに広く手に取っていただき、ひょうごの「農」への理解をより一層深めるため、本県農林水産行政に関する情報を分かりやすくまとめたものです。

1. 多彩なひょうごの農林水産業

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海及び太平洋に続く紀伊水道に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、高原、平野、島々など広大で変化に富んだ地形と厳寒、降雪、乾燥、温暖という様々な気候が存在するなど、他府県に類を見ない多様な自然環境を有しています。さらに、歴史的に形成されてきた特色ある固有の風土、文化を有する摂津（神戸・阪神）、播磨、但馬、丹波、淡路といった5つの地域で構成されており、多様な自然環境のもと、それぞれの地域の気候・風土に根ざした多彩な農林水産業が営まれています。

生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く、主なものとして、農産物では、山田錦（酒米）（1位）、丹波黒（黒大豆）（1位）、たまねぎ、いちじく、カーネーション、また、水産物では、シラス（1位）、イカナゴ（1位）、ハタハタ（1位）、ホタルイカ（1位）、マダイ（1位）、ノリ養殖、ズワイガニ、スズキ類などがあります。

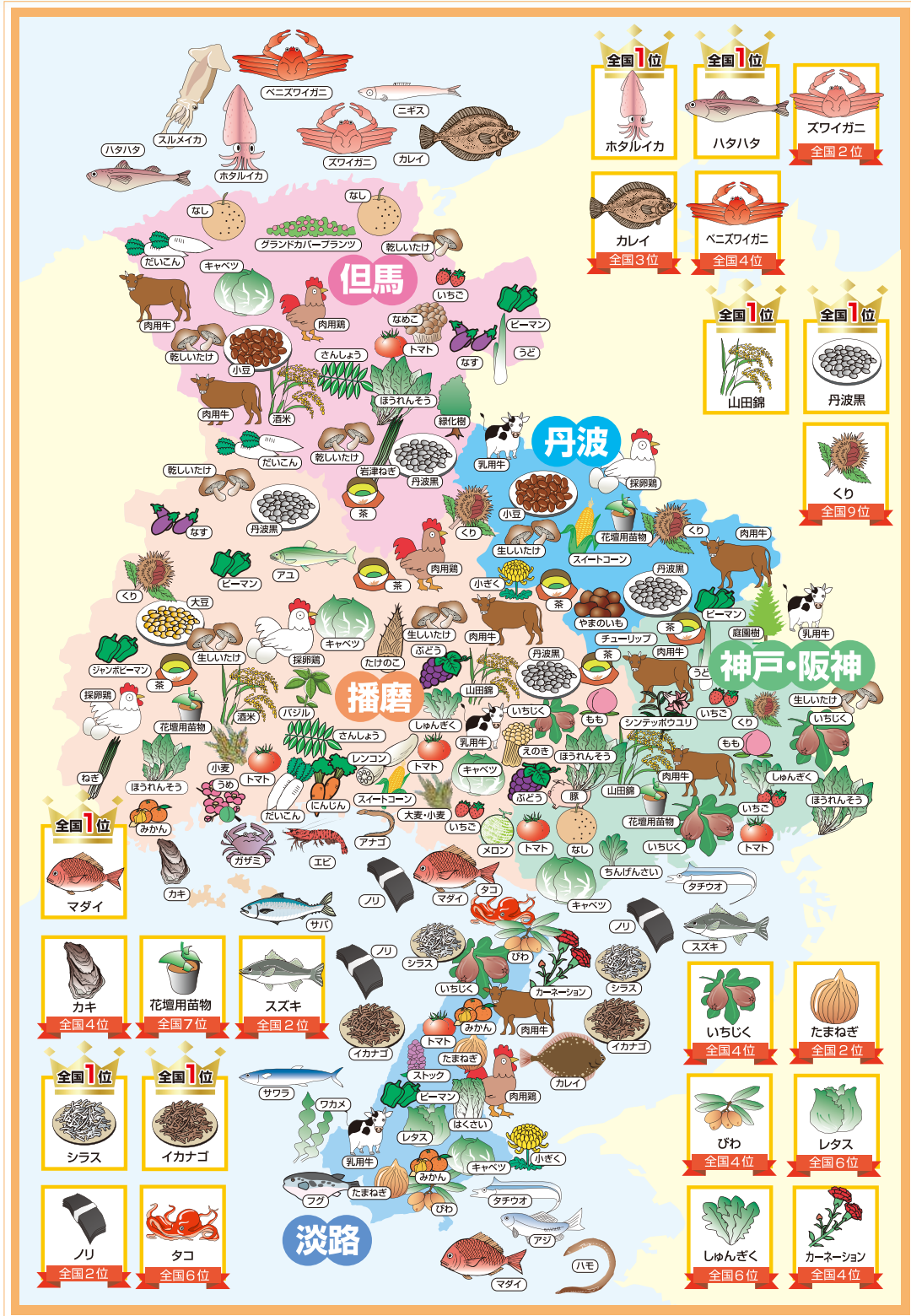
また、神戸ビーフ、明石鯛などは、全国的にも有名なブランドとして知られています。

地域的には淡路地域など農林水産業の盛んな地域を有する一方、人口の多い神戸・阪神地域を有する消費県でもあります。このため、食料自給率（令和3年度）は、カロリーベースでは16%（全国38%）、生産額ベースでは32%（全国63%）と全国よりも低い水準となっています。

全国上位を占める主な農林水産物

項 目	生産量等	全国シェア	全国順位	県内の主な産地	備 考（資料）	
米	山田錦〔酒米〕（出荷量）	16,031 t	56.9%	1	播磨地域	農林水産省「令和4年産米の農産物検査結果（確定値）」 ※山田錦出荷量は検査数量ベース
豆	丹波黒〔黒大豆〕（収穫量）	1,051 t	38.4%	1	丹波・播磨地域	県農産園芸課調べ（令和4年）
野菜	たまねぎ（収穫量）	86,400 t	7.1%	2	淡路地域	農林水産省「令和4年産野菜生産出荷統計」
	レタス（収穫量）	24,200 t	4.4%	6	淡路地域	〃
	しゅんざく（収穫量）	1,340 t	5.2%	6	神戸・阪神地域	〃
	はくさい（収穫量）	20,900 t	2.4%	10	淡路地域	〃
	キャベツ（収穫量）	25,800 t	1.8%	11	淡路・神戸地域	〃
果実	いちじく（収穫量）	1,301 t	12.1%	4	神戸・阪神地域	農林水産省「令和2年産特産果樹生産動態等調査」
	びわ（収穫量）	146 t	5.8%	4	淡路地域	農林水産省「令和4年産果樹生産出荷統計」
	くり（収穫量）	400 t	2.6%	9	丹波・阪神地域	〃
花き	カーネーション（出荷量）	17,100千本	8.9%	4	淡路地域	農林水産省「令和4年産花き生産出荷統計」
	花壇用苗もの類（出荷量）	23,800千本	4.4%	7	神戸・播磨地域	〃
畜産物	生乳（生産量）	76,247 t	1.0%	16	播磨・淡路地域	農林水産省「令和4年牛乳製品生産統計」
	肉用牛（飼養頭数）	58,800頭	2.2%	10	淡路・播磨・阪神・但馬地域	農林水産省「令和4年畜産統計」
	鶏卵（生産量）	97,137 t	3.7%	10	播磨地域	農林水産省「令和4年畜産物流通統計」
	ブロイラー（出荷羽数）	12,466千羽	1.7%	12	但馬地域	農林水産省「令和4年畜産統計」
	はちみつ（生産量）	66 t	2.6%	12	播磨・阪神地域	農林水産省畜産振興課調べ（令和4年）
水産物	シラス（漁獲量）	19,834 t	28.9%	1	瀬戸内海	農林水産省「令和3年漁業・養殖業生産統計」
	イカナゴ（漁獲量）	1,391 t	55.8%	1	瀬戸内海	〃
	ノリ養殖（収穫量）	46,034 t	20.1%	2	瀬戸内海	〃
	ズワイガニ（漁獲量）	588 t	23.1%	2	日本海	〃
	ハタハタ（漁獲量）	1,456 t	35.6%	1	日本海	〃
	ホタルイカ（漁獲量）	4,005 t	67.7%	1	日本海	県水産漁港課調べ（令和3年）
	タコ類（漁獲量）	707 t	2.6%	6	瀬戸内海	農林水産省「令和3年漁業・養殖業生産統計」
	カレイ類（漁獲量）	1,919 t	5.4%	3	日本海・瀬戸内海	〃
	ペニズワイガニ（漁獲量）	1,853 t	14.2%	4	日本海	〃
	マダイ（漁獲量）	2,245 t	13.9%	1	瀬戸内海	〃
	カキ（漁獲量）	10,148 t	6.4%	4	瀬戸内海	〃
	スズキ類（漁獲量）	678 t	11.5%	2	瀬戸内海・日本海	〃

多彩なひょうごの農林水産物マップ



「農」とは

土を耕し、森を育て、豊かな海を守り、食料をはじめ人々の生活を支える様々なものを産み出す農林水産業の営み、その営みを通じた生物多様性などの環境保全や洪水防止、水源かん養等の多面的機能により県民の「いのち」と「くらし」を支えるもの。

さらには、人々の生活の場である農山漁村とそこに育まれた伝統・文化、豊かで美しい景観など、広く農林水産業・農山漁村を捉えた概念。

2. 農林水産業の概要

農業の現状

① 農業産出額

本県の農業産出額は1,501億円（全国22位）で、近畿地方（6府県）の33%を占めており、京阪神都市圏の食料生産基地として重要な地位にあります。

農業産出額の構成比を見ると、米（26%）、野菜（24%）、畜産（42%）で全体の約92%を占めており、全国と比べると米の比率が高くなっています。

② 基幹的農業従事者の年齢構成

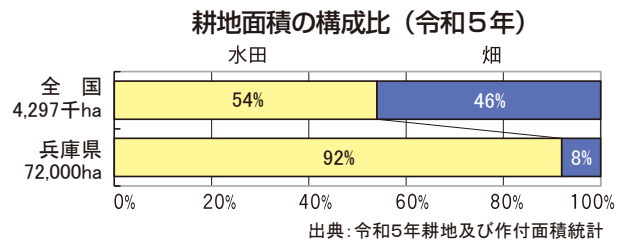
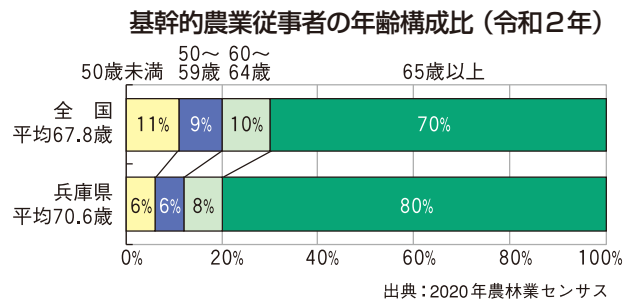
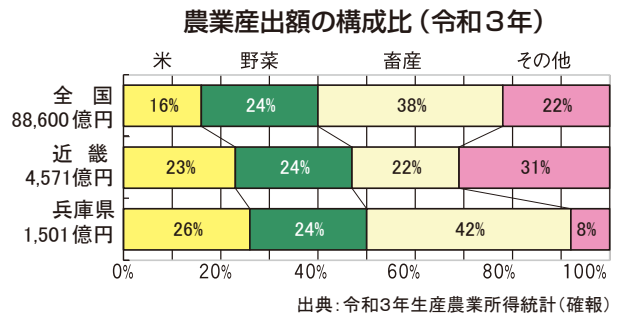
基幹的農業従事者の平均年齢は70.6歳と全国（67.8歳）よりも高く、高齢化が進行しています。

③ 耕地面積

耕地面積は、72,000ha（全国18位）です。そのうち水田面積は65,900ha（全国12位）で、耕地全体に占める割合は全国（54%）と比べると極めて高く、92%となっています。

一経営体当たりの経営耕地面積は1.2haで、全国（3.1ha）の半分以下であり、小規模な経営が大半を占めています。

また、降水量の少ない瀬戸内地域や淡路地域を中心に、ため池が数多く築造されており、農業用水の約半分はため池に依存しています。



畜産業の現状

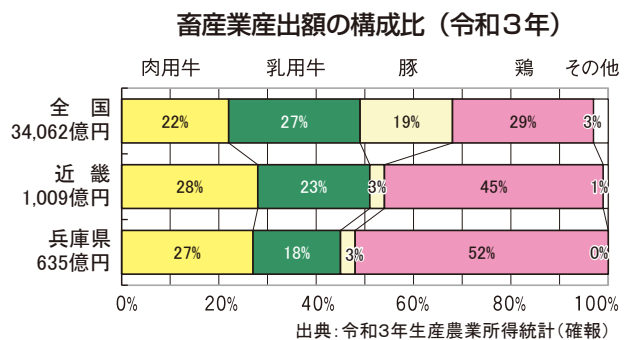
① 畜産業産出額

本県の畜産業の産出額は635億円で、近畿地方（6府県）の63%を占めています。家畜別では、肉用牛が173億円、乳用牛が116億円、豚が16億円、鶏が329億円となっています。

② 飼育状況

家畜の飼育状況は、肉用牛が58,800頭（全国10位）、乳用牛が12,400頭（全国16位）、豚20,600頭（全国38位）、採卵鶏が621万羽（全国10位）、肉用鶏が222万羽（全国13位）となっています。

肉用牛は県下全域で飼育されていますが、そのうち繁殖雌牛は43%が淡路地域で、27%が但馬地域で飼育されています。乳用牛は37%が播磨地域、33%が淡路地域で飼育されており、採卵鶏は84%が播磨地域で、肉用鶏は68%が但馬地域で飼育されています。



林業の現状

①森林面積

本県の森林面積は560,080ha（全国14位）で、県土に占める森林の割合は全国とほぼ同じ67%ですが、そのうち、個人や集落が所有している民有林は529,780haで、その割合は95%と全国と比べて極めて高い状況です。

また、民有林の42%（221,571ha）をスギ、ヒノキ等の人工林が占めており、そのうち、伐採して利用が可能とされる46年生（10齢級）以上の森林が80%を占めています。

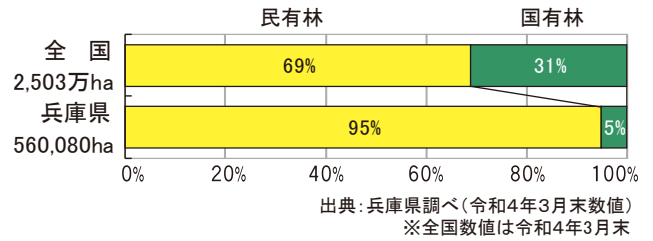
②林業労働者

県内林業労働者数は、令和4年度末現在759人で、減少傾向は続くものの、50歳未満の労働者数は、平成5年度の276人から令和4年度には453人へと増加し、年齢構成が若返ってきています。

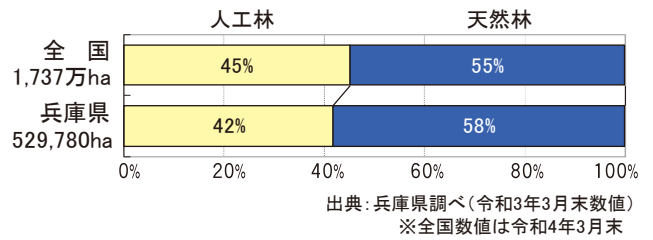
③林業産出額

林業産出額は45.0億円で、このうち木材生産は34.0億円（76%）であり、針葉樹の産出額が95%を占めています。また、栽培きのこ類は7.7億円（17%）で、このうち、生しいたけが92%を占めています。

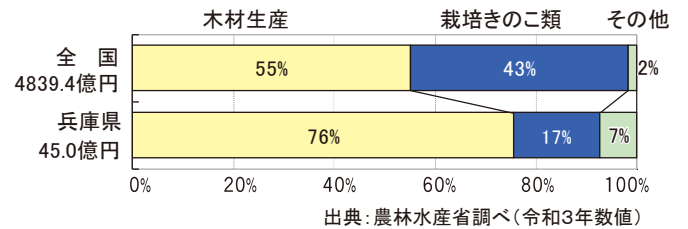
森林の構成比（令和3年）



民有林の構成比（令和3年）



林業産出額の構成比（令和3年）



水産業の現状

①漁業産出額

本県の漁業産出額は412億円で、全国9位（シェア3.3%）に位置するとともに、近畿地方（6府県）の62%を占めています。

②日本海の特徴

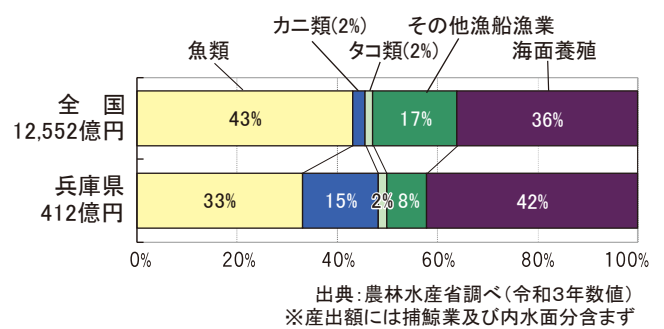
日本海では、冬季風浪が厳しく、浅海域が少ないことから、大型船による沖合漁業が中心で、ズワイガニ、ホタルイカ、ハタハタ、カレイ類、ベニズワイガニなどが漁獲されています。

③瀬戸内海の特徴

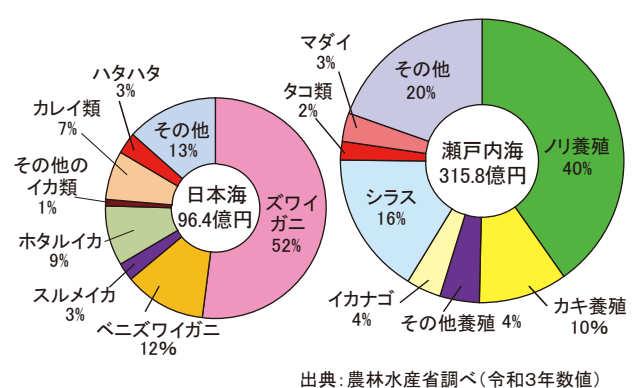
瀬戸内海では、比較的水深が浅く、波浪が穏やかなことから、10t未満の小型船による沿岸漁業が中心となり、タコ、マダイ、シラス、イカナゴなどが漁獲されています。また、ノリやカキ等の養殖業も盛んで、特にノリ養殖の生産額は127億円と瀬戸内海の漁業産出額の40%を占めています。

シラス、イカナゴ、ハタハタ、ホタルイカ、マダイが全国1位、ノリ養殖、ズワイガニ、スズキ類が同2位など、生産量が全国順位の上位を占める水産物も多く、重要な地域資源として各地域の活性化に寄与しています。

漁業産出額の構成比（令和3年）



海域別の漁業産出額の構成比（令和3年）



1. めざす姿

みけつくに
御食国ひょうご 令和の挑戦

～都市近郊の立地を活かした
農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展～

新型コロナウイルスの影響を乗り越え、販売チャネルの多様化を図り経営基盤を強化した経営体が増加しています。また、UJIターン、二地域居住に対する関心の高まりに各地域が積極的に対応することにより地域が活性化しています。

さらに、SDGsの理解が深まり、都市近郊の立地を活かして実需者や消費者と直接結びついた持続可能な力強い農林水産業が展開されています。近年多発する自然災害への対応として防災・減災対策が進み、農福連携や農泊など「農」と多様な分野との連携による新たな取組が県内に広がり、県民が安心して暮らせる活力ある地域が創出されています。加えて、ひょうごの「農」がもたらす恵みが県民はもとより国内外でも享受され、ひょうごの「農」にかかわるすべての人々の健康で豊かな暮らしに結びついています。

2. ビジョンの基本方向

基本方向Ⅰ 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

スマート化による効率化、産品毎のブランド力の強化、多様な人材が農業を支え合う地域協働体制の構築、販売チャネルの多様化、海外市場の開拓等により、**基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開**をめざす。

農業



都市近郊の立地を活かし、施設野菜など野菜の生産拡大や、農業の法人化と経営力の強化、企業参入の促進による次代を担う担い手の育成、農地の集積・集約化等を進め、実需と結びついた競争力の高い農業の展開をめざす。

畜産業



但馬牛繁殖雌牛の増頭による但馬牛・神戸ビーフの生産体制の強化、需要に応じた生乳の安定生産を進め、安全・高品質な畜産物の生産強化をめざす。

林業



人工林の適正な経営管理のもと、県産木材の利用促進を図り、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する資源循環型林業の構築をめざす。

水産



適正な栄養塩管理等による豊かで美しい海の再生、経営感覚に優れ意欲ある漁業者等の育成による収益性の高い力強い漁業の確立をめざす。

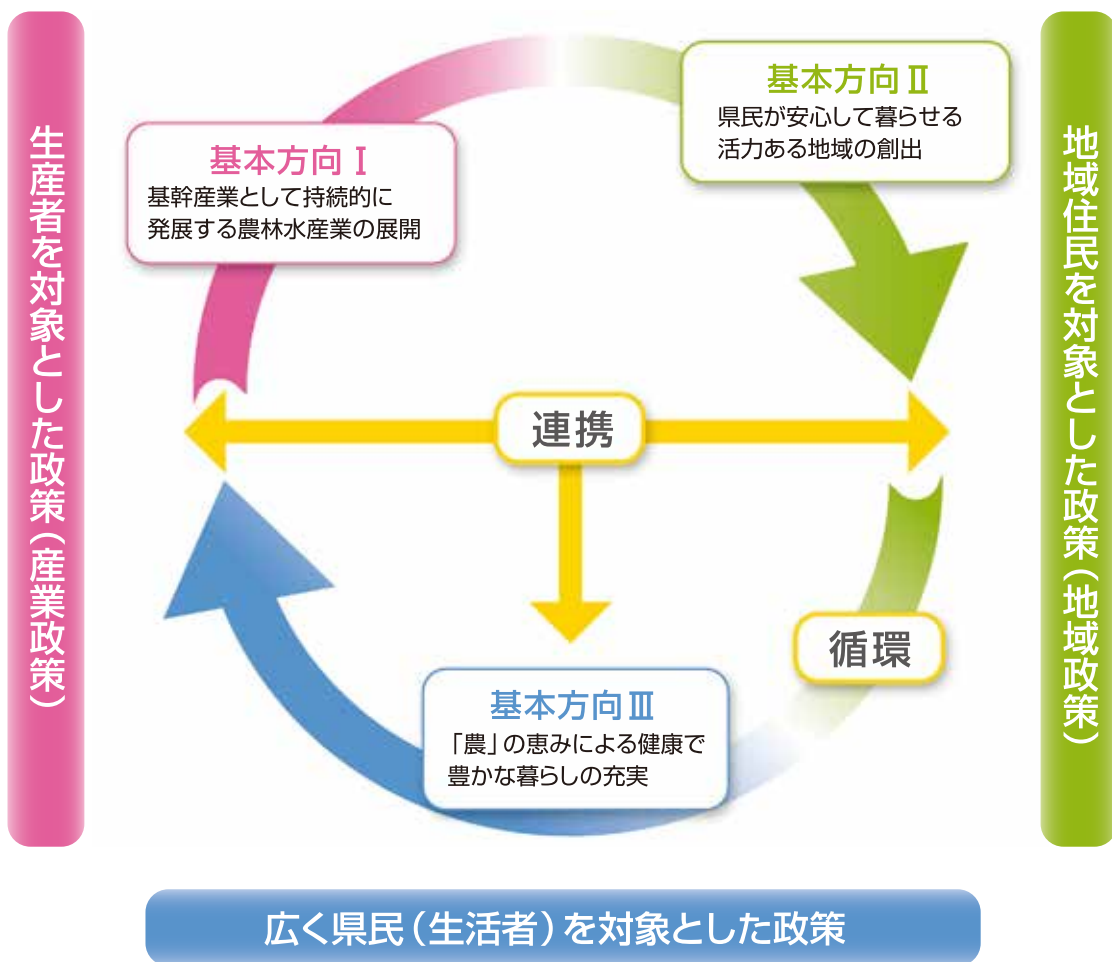
基本方向Ⅱ 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

地域ぐるみの協働活動や地域資源の活用などによる中山間地域の農村コミュニティの活性化や、災害に強い安全・安心な農山漁村の暮らしの確保、防災機能・公益的機能など森林の機能向上等により、**県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出**をめざす。

基本方向Ⅲ 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

「楽農生活」のさらなる推進や農福連携等多様な分野との連携強化により、ひょうご五国の特徴ある多自然地域や農林水産業の維持・活性化、県産農林水産物の安全・安心で安定的な供給体制の強化により、「農」の恵みによる**県民（生活者）の健康で豊かな暮らしの充実**をめざす。

【産業政策と地域政策の連携・循環】



3. ビジョンの位置付け

本県農林水産行政推進の基本となる計画的かつ総合的な指針です。

また、農林水産業従事者のみならず、農山漁村や都市で暮らす人々などの県民、さらにインバウンドによる観光旅行者等、本県の食と「農」に関わるすべての人々を対象とした行動指針です。

4. ビジョンの計画期間

このビジョンの計画期間は、令和3年度から令和12年度（2030年度）までの10年間とします。

5. 推進項目と主な取組

基本方向Ⅰ 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

(1) スマート化による新しい農林水産業の実現

- ①低コストで導入可能な兵庫型スマート農業技術の開発・実証
- ②スマート農林水産業の導入推進（搾乳ロボット、森林クラウドシステム、漁場環境情報システム等）
- ③スマート農業機械の共同利用等の支援



ドローンによる追肥の様子
(三木市)

(2) 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

- ①高度環境制御技術の導入等による競争力の高い施設園芸産地の育成
- ②高温対策や需要と直結した米の安定生産の推進
- ③法人化と法人経営の強化による持続的な経営体の育成
- ④収入保険制度・農業共済制度への加入や制度資金の活用による経営の安定化の促進
- ⑤農作業の分業化による副業的な農作業の従事者や地域の多様な人材の確保
- ⑥地域ぐるみによる新規就農者の確保・定着支援
- ⑦地域計画の策定推進やオペレーターの育成等による集落営農の組織化と経営力の強化
- ⑧企業による農業参入・参画の促進、参入企業の育成
- ⑨野生動物の「潜み場」対策やスマート化等による荒廃農地の発生防止・解消
- ⑩地域の農業を支え合う持続可能な協働体制の確立（いきいき農地バンク方式、リモコン式草刈機の導入等）
- ⑪農家と消費者が連携し相互に支え合う地域支援型農業（CSA）の推進
- ⑫農地の集積・集約化及び農地の大区画化やパイプライン化の推進
- ⑬人と環境にやさしい環境創造型農業の拡大



就農希望者向けセミナー
(神戸市)

(3) 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

- ①牛舎整備や繁殖雌牛の導入支援等による但馬牛増頭
- ②但馬牛・神戸ビーフをはじめとする県産畜産物の安定生産とブランド力の強化
- ③スマート化や飼料増産支援等による酪農経営の安定
- ④耕畜連携と堆肥利用の推進



神戸ビーフPR看板の設置
(神戸市)

(4) 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進

- ①民間施設の木造・木質化や燃料用チップの安定供給などによる県産木材の利用推進
- ②人工林のゾーニングによる木材生産と環境保全の調和がとれた計画的な森林整備の推進
- ③県立森林大学校の充実による新規林業就業者の確保・育成
- ④低コストで効率的な主伐・再造林の普及モデルの展開



主伐・再造林普及モデルの指導
(丹波市)

(5) 豊かな海と持続的な水産業の実現

- ①漁業者による海底耕うん等による浅場や藻場等の生物生息環境の保全・回復
- ②環境改善が期待出来る種苗等の放流による新たな栽培漁業の展開
- ③漁場現場での長期研修等の支援による漁業者の確保・育成
- ④漁業者の所得向上に向け収益性の高い養殖業・漁船漁業の確立



(公財)ひょうご豊かな海づくり協会
で生産されたマダコ種苗

(6) 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

- ① 産品が持つ優位性(魅力)を明確にしたブランド戦略の策定・実践の推進
- ② ECサイトの活用や兵庫県認証食品のプロモーション強化
- ③ 神戸ビーフ、県産米、日本酒等の輸出促進
- ④ 生産から消費まで結びつけるフードチェーンづくりとブランド強化の推進
- ⑤ 農家自らによる商品開発や直販等につながる6次産業化の推進

(7) 食の安全を支える生産体制の確保

- ① GAP(農業生産工程管理)や農場HACCPの考え方に基づく衛生管理体制の導入推進
- ② 重大家畜伝染病の発生・まん延防止(口蹄疫や豚熱、鳥インフルエンザ等)



基本方向Ⅱ 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

(8) 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

- ① 棚田の多面的機能の維持と地域の賑わいづくりの推進
- ② UJIターン施策と連携した定住・二地域居住や就農促進
- ③ 野生動物の個体数管理による農林業被害の軽減対策の推進
- ④ 多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度を活用した農業生産活動等の推進
- ⑤ バイオマスを活用した地域活性化の推進
- ⑥ 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進



ため池保全サポートセンターによる巡回点検 (西脇市)

(9) 農山漁村の防災・減災対策の推進

- ① ため池の定期・巡回点検の実施や改修・廃止の推進
- ② 治山ダム整備等による計画的な危険地区の解消
- ③ 漁港施設の長寿命化等の推進



人家等を保全する治山ダム (養父市)

(10) 豊かな森づくりの推進

- ① 森林環境譲与税を活用した森林管理の徹底
- ② 針広混交林への誘導や危険木伐採等による災害に強い森づくりの推進



「農」に携わる人材育成のための草刈り研修会 (豊岡市)



農福連携研修会実践コース (神戸市西区)

基本方向Ⅲ 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

(11) 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

- ① 楽農生活の意義の理解促進
- ② 田園回帰に伴う定住・二地域居住や半農半X志向による楽農生活実践の拡大
- ③ 地域楽農生活センターの全県への拡大

(12) 「農」と多様な分野との連携強化

- ① 農林漁業者と福祉事業所とのマッチング促進による農福連携の推進
- ② グリーン・ツーリズムの推進
- ③ マリン・ツーリズムの推進

(13) 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

- ① 卸売市場を通じた安定供給の確保
- ② 県産県消の推進 (直売活動の支援、おいしいごはんを食べよう県民運動、学校給食での県産物の利用促進、食育、魚食普及)

6. 農林水産ビジョン2030とSDGsとの関連

「ひょうご農林水産ビジョン2030」のめざす姿（御食国ひょうご 令和の挑戦～都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展）とSDGs（持続可能な開発目標）は、農林水産業・農山漁村を含め「持続可能な地域づくり」をめざす観点で合致しており、また、それぞれは2030年を目標年に定めている点でも共通しています。

【農林水産分野でのSDGsの理解醸成】

県内の農林漁業者や関係機関等に対してSDGsへの理解を促進するため、セミナー・シンポジウムに有識者を招いて講演を行ったほか、農林漁業団体、農林漁業者、食品関連事業者等の経営計画にSDGsを盛り込むための専門家派遣を実施しています。

また、SDGs達成に向けた活動の「見える化」への取組として、「ひょうご農林水産SDGs推進宣言・認証事業」を実施します。



ひょうご農林水産SDGs
シンポジウム

【県内の先進事例】

県内でSDGs達成に向けて取り組んでいる事例を紹介します。

農事組合法人 アイガモの谷口

自然の摂理に沿った農業の実践と、食を通して健康と幸せを創出するため、アイガモ農法を中心とした農畜産物の加工販売を行い、持続可能な農業を実践。



アイガモを活用した水稲栽培

NPO法人 バイオマス丹波篠山

森林を守るために間伐を行うとともに、その間伐材で地元産の割り箸や木質ペレットなどを作ることで、森林づくりや木材利用拡大を実施し、脱炭素社会の実現を推進。



木質ペレット

株式会社NOUEN

異業種と連携し、規格外のため廃棄されていた岩津ねぎを活用したお味噌汁やクリームポタージュなどの商品を共同で開発・販売することで、農産物の廃棄ロス削減を実現。



規格外岩津ねぎを活用した商品

株式会社コープエコファーム

コープこうべの店舗から出る食品残さを堆肥化し、その堆肥を活用しコープエコファームで野菜を栽培、再びコープこうべの店舗で供給する資源リサイクルを構築。



コープエコファームの農園

【SDGsとは】

SDGsは、2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国首脳に参加のもと、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことです。

それらは、貧困や飢餓から環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、豊かさを追求しながら地球環境を守り、そして「誰一人取り残さない」ことを強調し、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成することが目標とされています。

「17の目標」一覧表

目標	内容
 1 貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
 2 飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、 持続可能な農業 を促進する
 3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
 4 質の高い教育をみんなに	全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、 生涯学習の機会 を促進する
 5 ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等 を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う
 6 安全な水とトイレを世界中に	全ての人々の 水と衛生の利用可能性と持続可能な管理 を確保する
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	全ての人々の、安価かつ信頼できる 持続可能な近代的エネルギー へのアクセスを確保する
 8 働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長 及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱(レジリエント)なインフラ構築、 包摂的かつ持続可能な産業化の促進 及びイノベーションの推進を図る
 10 人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の 不平等 を是正する
 11 住み続けられる街づくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で 持続可能な都市及び人間居住 を実現する
 12 つくる責任つかう責任	持続可能な生産消費形態 を確保する
 13 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策 を講じる
 14 海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために 海洋・海洋資源 を保全し、持続可能な形で利用する
 15 陸の豊かさを守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止 する
 16 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて 効果的で説明責任のある包摂的な制度 を構築する
 17 パートナリシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、 グローバル・パートナーシップ を活性化

1. ビジョン2030施策体系と2024年度予算

【めざす姿】

【基本方向】

【推進項目】

【推進項目の概要】

御食国ひょうご 令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展

I 農林水産業として持続的に発展する

37,721百万円

1. スマート化による新しい農林水産業の実現 241百万円
2. 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開 8,877百万円
3. 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化 1,064百万円
4. 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進 24,600百万円
5. 豊かな海と持続的な水産業の実現 2,061百万円
6. 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上 601百万円
7. 食の安全を支える生産体制の確保 277百万円

ICTやセンシング技術、自動化技術など先端技術を活用し、各地域の営農条件等に対応したスマート化を推進します

多様な自然環境と消費地に近接する立地を活かし、実需と結びついた競争力の高い農業を展開します

神戸ビーフ館の開設や但馬牛の日本農業遺産の認定を契機とし、神戸ビーフ、但馬牛のさらなる需要を喚起します

県産木材の利用を促進し、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する「資源循環型林業」を構築します

漁場整備や増殖場の機能を回復・強化し、積極的な種苗放流等により、豊かで美しい海を再生します

県産農林水産物について、それぞれの産品が持つ優位性(魅力)を明確にし、国内・海外市場をターゲットに流通・販売の拡大を図ります

生産者と連携して、食の安全性を確保するとともに、持続可能な生産体制を強化し、県民に信頼される食の安定供給を推進します

II 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

23,140百万円

8. 特色を活かした活力ある地域づくりの推進 5,584百万円
9. 農山漁村の防災・減災対策の推進 15,162百万円
10. 豊かな森づくりの推進 2,394百万円

田園風景や地域のお祭りなどの地域資源の活用や、地域ぐるみで環境保全に取り組むことにより、集落機能の維持等を推進します

近年頻発化する局地的な豪雨や台風、近い将来に危惧される南海トラフ等巨大地震に備えるため、安全・安心な農山漁村づくりを推進します

森林を県民共通の財産と位置づけ、県民緑税などを活用した、森林の適正管理と災害に強い森づくりにより、森林の公益的機能の維持・向上を推進します

III 「農」の恵みによる暮らしの充実

360百万円

11. 食と「農」に親しむ楽農生活の推進 123百万円
12. 「農」と多様な分野との連携強化 4百万円
13. 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進 233百万円

県民一人ひとりの「楽農生活」が充実し、さらには県民の取組が地域や世代を超えたつながりや広がりを推進します

「農」と福祉や観光など他分野との連携を強化し、農福連携やグリーン・ツーリズム等の取組の展開により、農山漁村の活性化を推進します

卸売市場をはじめとした流通システムのより一層の強化や、県産県消の推進により消費者と生産者がともに支え合う関係を構築します

※予算額は10万円単位で四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

2. 2024年度の重要施策

【施策展開方向】

SDGs（持続的な開発目標）の達成に向けて持続可能な農林水産業を展開すべく、都市近郊の立地を活かし、地域の経済と雇用を支える基幹産業化に資する取組を推進する。

このため、コスト構造の改革に加え、カーボンニュートラルも見据えた環境負荷の低減や、有機農業の担い手育成に取り組むとともに、多様な人材の地域農業への関わりを創出することにより持続可能な地域づくりを推進する。

さらに、県産農林水産物の付加価値を高め、国内・海外市場での流通・販売を拡大していくために、2025年大阪・関西万博を好機と捉え、オープンファームなど地域に人を呼び込む取組や、CSAなど生産者と消費者が支え合う関係づくりを進め、消費者理解の醸成を図る。

項 目	内 容	
1.兵庫型スマート農業の推進	①スマート農業技術のマッチングの推進 ②データを活用したスマート農業の推進	P.13
2.有機農業をはじめとする環境創造型農業の更なる取組の拡大	①有機農業の担い手の育成 ②慣行農業から有機農業への転換促進 ③有機農業塾を通じた理解醸成	P.13
3.本県の強みを活かし需要と直結した生産の新展開	①温暖化等気候変動に対応した良食味米の育成 ②県産酒米・日本酒のブランド力強化	P.13
4.多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革	①「地域計画」の策定の推進 ②地域ぐるみの新規就農者の確保・定着支援 ③「オープンファーム」の育成による経営多角化の推進 ④農福連携の取組強化	P.14
5.農地利用の最適化と効率的な生産基盤の確立	①農地の集積・集約化の推進 ②農地の条件整備	P.14
6.高品質な畜産物の生産力の強化	①肥育素牛の生産拡大 ②但馬牛の改良と但馬牛・神戸ビーフの品質強化 ③耕畜連携の推進	P.14
7.県産木材の利用拡大と適正な森林整備の推進	①県産木材のブランディングの促進 ②木造建築を推進する建築士の養成 ③Jクレジット制度を活用した森林整備の促進	P.15
8.豊かな海と持続的な水産業の実現	①適正な栄養塩管理の推進 ②豊かな海の再生に向けた新たな栽培漁業の展開 ③流通拠点の機能強化	P.15
9.県産農林水産物の流通・販売の拡大支援	①ブランド戦略の推進 ②国内での販路拡大支援 ③海外市場の戦略的な開拓	P.15
10.県産県消の推進	①互いに支え合える関係づくりの推進 ②学校給食での県産食材の利用促進	P.16
11.重大家畜伝染病の発生予防・まん延防止対策の徹底	○飼養衛生管理の徹底とより実効性の高い防疫対策の構築	P.16
12.ため池災害等の未然防止と避難対策の促進	①ため池の適正管理の推進と防災工事の実施 ②減災・避難対策の促進	P.16
13.災害に強い森づくりの推進	①緊急防災林整備 ②里山防災林整備	P.16

2024年度の重要施策

重要施策1 兵庫型スマート農業の推進

農業の省力化や労働環境改善、経営安定等を目指すため、ICT等の先端技術を活用したスマート技術の導入を支援します。

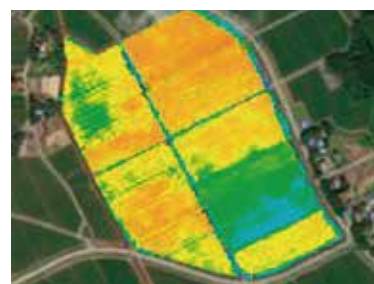
【取組内容】

①スマート農業技術のマッチングの推進

web上に構築したプラットフォームにおいて、産地課題や企業の有するスマート農業技術の集約・情報発信を充実し、産地と企業のマッチングを進め、地域の課題解決や経営改善を推進

②データを活用したスマート農業の推進

データ活用によるスマート農業の導入を促進するため、各産地で技術普及の核となる農業者等を育成



センシングによって得られた育成状況マップ（加古川市）

重要施策2 有機農業をはじめとする環境創造型農業の更なる取組の拡大

有機農業の技術と経営を体系的に学ぶ場の設置により担い手の育成を強化するほか、環境的価値のみならず手間やコストの増加など有機農業に対する正しい理解を醸成する活動を支援します。

【取組内容】

①有機農業の担い手の育成

県立農業大学校での「経営として成り立つ有機農業」を体系的に学ぶコース（1年制、定員：10名）の新設（令和8年4月開校予定）に向け、カリキュラムの作成や実習を行うほ場・ビニールハウスの整備などの準備に着手

有機農業指導員の育成、有機農業を志向する就農希望者と親方農家とのマッチング、市町が主体となる有機農業産地づくり等を推進

②慣行農業から有機農業への転換促進

一定規模以上の慣行農業の経営体を対象に、有機農業への転換を支援し、地域における有機農業のモデル経営体として育成

③有機農業塾を通じた理解醸成

消費者等を対象に、有機農業体験や情報発信等を通じた環境負荷低減や生産の手間等への理解醸成の取組を支援



有機農業塾（加西市）

重要施策3 本県の強みを活かし需要と直結した生産の新展開

高温耐性のある水稲オリジナル品種の育成と、その普及拡大に向けたプロモーションを実施するとともに、有機等こだわりの日本酒の生産を推進します。

【取組内容】

①温暖化等気候変動に対応した良食味米の育成

J Aグループ等と連携し、高温耐性があり、キヌヒカリ並の熟期で食味に優れた品種を令和7年度から販売開始できるよう育成

スムーズな普及拡大のため、オリジナル品種の情報発信（プロモーション）を実施

②県産酒米・日本酒のブランド力強化

日本酒の有機JAS認証制度の開始を踏まえ、有機等こだわりの日本酒生産を推進
輸出促進セミナーや海外バイヤーとの商談会開催のほか、輸出向け日本酒の商品開発やコンテスト出品等への支援により、国内外に県産酒米と日本酒の魅力を発信



米卸売業者とのオリジナル品種試食意見交換会（加西市）

重要施策4 多様な人材の確保・育成による担い手構造の改革

地域の話合いに基づき、将来の担い手と農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定と、多様な人材の地域農業への参画を推進し、持続可能な地域づくりを実現します。

【取組内容】

①「地域計画」の策定の推進

広域での話合いの事例や効率的な地図作成の手法など計画策定に係る共通課題への対応策や優良事例の共有を図る市町担当者向け研修会の開催等により、市町の取組を支援

②地域ぐるみの新規就農者の確保・定着支援

外部人材受け入れに係る地域の合意形成、地域への溶け込みや経営継承の環境整備など、地域主導で円滑な就農・定着をサポートする取組を支援

③「オープンファーム」の育成による経営多角化の推進

経営の多角化による所得の向上に向け、地域に人を呼び込み、ひょうごの「農」への消費者理解を深める「オープンファーム」の取組を支援

④農福連携の取組強化

農福連携技術支援者育成研修を実施し、県下各地に農福連携の技術的な助言等ができる人材を確保・育成

連携モデル育成のため、取組開始時における知識の習得や農機具類の導入を支援



農家によるオープンファームの取組
(丹波市)

重要施策5 農地利用の最適化と効率的な生産基盤の確立

「地域計画」の実現に向け、地域での話合い及び農地バンクを活用した担い手への農地の集積・集約化を進めます。

【取組内容】

①農地の集積・集約化の推進

農地バンク（農地中間管理機構）の利用による担い手への農地の集積・集約化を、担い手の確保・育成や地域の役割分担による農地保全と併せて推進

②農地の条件整備

「農地整備10箇年推進プログラム」に基づき、スマート農業を見据えたほ場の大区画化、ICTを用いた給排水の自動化、水稻に代わる高収益作物導入のための暗渠排水工（農地の排水改良）を推進



二次整備で大区画化されたほ場
(姫路市)

重要施策6 高品質な畜産物の生産力の強化

受精卵移植による肥育素牛の増産や、但馬牛の改良、但馬牛・神戸ビーフのブランド力の強化を図るとともに、耕畜連携を推進し畜産物の生産力を強化します。

【取組内容】

①肥育素牛の生産拡大

兵庫県但馬牛受精卵移植推進協議会を通じて酪農家に但馬牛受精卵を供給するなど、乳用牛等への受精卵移植を推進し、神戸ビーフの肥育素牛を増産

②但馬牛の改良と但馬牛・神戸ビーフの品質強化

ゲノム情報を活用した但馬牛改良によって新たな系統分類を確立し、希少系統の導入・保留を促すことで効率的に美味しさや分娩間隔などの経済的能力の向上を促進

③耕畜連携の推進

飼料生産や家畜堆肥の利用を進めるとともに、必要となる設備・機械の導入を支援し、飼料・肥料の輸入依存度の低減を推進



受精卵移植産子と乳用種母牛
(三田市)

重要施策 7

県産木材の利用拡大と適正な森林整備の推進

県産木材の認知度向上や木造建築を推進する建築士の養成を推進し県産木材の利用拡大を図るとともに、Jクレジット制度を活用した市町の森林整備を支援します。

【取組内容】

① 県産木材のブランディングの促進

県産木材の県民への認知度向上を図るため、民間企業との検討会を設置し、県産木材のブランディングを促進

② 木造建築を推進する建築士の養成

民間建築物等の非住宅建築の木造・木質化を促進するため、木造設計技術等を習得するセミナーの開催等により、県内で木造建築に携わる建築士を養成

③ Jクレジット制度を活用した森林整備の促進

森林整備による二酸化炭素吸収量をクレジット化し、その収益で森林整備を促進するため、大規模公有林を保有する市町を対象にクレジット発行への取組を支援



木造建築セミナー修了式
(神戸市)

重要施策 8

豊かな海と持続的な水産業の実現

豊かな海づくりを推進するとともに、漁業者の生産活動を支える取組を推進します。

【取組内容】

① 適正な栄養塩管理の推進

漁業者による海底耕うんやため池のかいぼりのほか、漁場への効率的な栄養供給試験などに取り組み、生物生息環境の保全・回復を推進

② 豊かな海の再生に向けた新たな栽培漁業の展開

海底の有機物を分解し、栄養塩供給に寄与すると期待されるナマコ、クマエビの本格的な生産・放流を実施するとともに、マダコの資源回復に向けて着底稚ダコの量産化技術の開発を推進

③ 流通拠点の機能強化

播磨地域の流通拠点漁港である妻鹿漁港（県管理第2種漁港）において、衛生管理対策及び陸揚作業の軽労化を目指した屋根付き浮棧橋等を整備



有機肥料による栄養添加試験
(波打ち際への埋設) (淡路市)

重要施策 9

県産農林水産物の流通・販売の拡大支援

外食チェーン店と連携した食材フェア等の開催や、海外でのプロモーションの実施など、県産農林水産物の販路拡大や認知度向上に向けた取組を推進します。

【取組内容】

① ブランド戦略の推進

ブランド化に取り組む産地・産品や兵庫県認証食品の需要拡大をめざし、認知度向上の取組や全国商談会への出展等を支援

② 国内での販路拡大支援

県産農林水産物の更なる販路開拓に向け、外食チェーン店や飲食店と連携した兵庫県フェアを開催

③ 海外市場の戦略的な開拓

海外における日本食人気の広がり等を好機と捉え、県産農林水産物の輸出拡大が期待される国での知事トッププロモーションの実施、EU(フランス)での食品展示会への出展など販路拡大を推進



外食チェーン店における
県産食材を活用したフェア

重要施策10 県産県消の推進

CSA手法の取組支援や、学校給食における県産食材の利用促進により、「農」に対する消費者の理解醸成や生産者の販路拡大を図ります。

【取組内容】

①互いに支え合える関係づくりの推進

農業体験や援農などを通じた生産者と消費者の交流と定期的・継続的な生産物の販売を行うCSA（Community Supported Agriculture）の手法を用いた取組を支援

②学校給食での県産食材の利用促進

学校給食での県産食材の利用を推進するため、市町の教育委員会等に対し、アドバイザーを派遣

栄養教諭等の環境負荷低減に対する理解醸成や、有機農産物を継続的に利用する体制構築を推進



給食用の味噌づくり体験
(太子町)

重要施策11 重大家畜伝染病の発生予防・まん延防止対策の徹底

高病原性鳥インフルエンザや、豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫の発生予防対策と発生時のまん延防止対策をより一層強化します。

【取組内容】

●飼養衛生管理の徹底とより実効性の高い防疫対策の構築

畜産農家に対し飼養衛生管理指導を徹底するとともに重大家畜伝染病の発生に備え、農場ごとの防疫作業及び焼却処分計画のより実効性の高い内容への更新、埋却処分予定地の現況調査など、防疫対策を強化



高病原性鳥インフルエンザ
防疫演習（姫路市）

重要施策12 ため池災害等の未然防止と避難対策の促進

頻発化・激甚化する豪雨に備え、農村における安全・安心な暮らしを確保するため、ため池の防災・避難対策を推進します。

【取組内容】

①ため池の適正管理の推進と防災工事の実施

決壊すると人命・財産に被害を及ぼすおそれがある特定ため池（約8,600箇所）を対象に定期点検を実施

早急な防災対策が必要と判定され優先度の高い440箇所について、改修・廃止工事を集中的かつ計画的に実施

②減災・避難対策の促進

ため池の治水活用による減災対策やハザードマップによる避難対策のほか、監視体制を強化するため水位等の遠隔監視システムの導入などICTの活用を推進



ため池監視システム展示場の開設
(明石市)

重要施策13 災害に強い森づくりの推進

記録的な豪雨や台風による被害の甚大化・頻発化を踏まえ、森林の防災機能の強化を図るため、県民緑税を活用し災害に強い森づくり（第4期対策）を推進します。

【取組内容】

①緊急防災林整備

危険渓流域の森林を対象に、間伐木を利用した土留工の設置や、溪流沿いの危険木の除去、災害緩衝林整備を実施

②里山防災林整備

集落裏山にある里山林の山地災害防止機能向上のため、危険木伐採等の森林整備や簡易な防災施設の整備を実施



集落裏山の危険木伐採
(宍粟市)

兵庫 県

令和6年3月

編集／兵庫 県農林水産部

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL.078-341-7711(代表) FAX.078-362-4458(総合農政課)